

第 4 回安曇野市消防委員会

1	審議会名	安曇野市消防委員会
2	日 時	令和 4 年 10 月 18 日 午後 6 時 30 分から午後 7 時 44 分まで
3	会 場	安曇野市役所 本庁舎 4 階 大会議室
4	出席者	寺畑委員長、小林職務代理、井口委員、伊藤委員、 草深委員、臼井委員、百瀬委員、塚田委員、小澤委員、 上原委員（消防署長）、二木委員（団長）、 危機管理課 消防防災係 係長 村田 担当 今井、有坂、赤澤
5	公開・非公開の別	公開
6	傍聴人	0 人 記者 0 人
7	会議概要作成年月日	令和 4 年 10 月 24 日
協 議 事 項 等		
【会議の概要】		
1	開会	
2	委員長あいさつ	
3	会議事項	
	(1) 諮問書に基づく検討課題について	
	ア 安曇野市消防委員会 中間答申（案）について	「消防団組織の充実強化等の見直しに関すること」
	イ 消防団員支援対策について	・ 準中型運転免許取得に対する補助金 ・ 消防団員の家族に対する功労報償金
5	閉会	
【会議事項】		
	(1) 諮問書に基づく検討課題について	
	ア 安曇野市消防委員会 中間答申（案）について	「消防団組織の充実強化等の見直しに関すること」
事務局：	「安曇野市消防団組織の充実強化等の見直しに関する」中間答申（案）について、資料を基に説明。	
委員長：	事務局からの説明を受け、意見・質問があればお願いしたい。	
	＜意見なし＞	
委員長：	意見・質問がないということで、中間答申（案）のとおり承認していただいたと理解したいと思う。 今後は、市長の日程調整を行い、小林職務代理と私で中間答申を提出したいと思うのでよろしくお願いしたい。	
	イ 消防団員支援対策について	・ 準中型運転免許取得に対する補助金 ・ 消防団員の家族に対する功労報償金
事務局：	準中型運転免許取得に対する補助金、消防団員の家族に対する功労報償金について、資料を基に説明。	
委員長：	事務局からの説明を受け、委員一人ひとりから意見をお伺いしたいと思う。	
委員 1：	消防団員の減少に関連して、消防車両を運転できる団員がいなくなってしまう。そのため、より多くの消防団員に運転してもらえるように準中型運転免許取得の補助金の準備が必要だと思う。 補助金の金額については、他市の状況を見ながら今後検討する必要があると思う。 家族の報償金については、家族あつての消防団だと思うので、団員確保に向け取り組んでいくのはよいことだと思う。ただ、全国的にも取組が少ない状況なので、本当に必要な取組なのか金額を含めて慎重な検討が必要になると思う。	

- 委員 2 : 準中型については、本当に必要性があるのか市で検証を行ってほしいと思う。その後、消防団の意見を聞きながら内容や金額の反映を行ってはどうか。
家族への報償金については、5年から対象とするのではなく、団員の士気向上や家族の理解を求めるのであれば、2～3年など早い時期からの支給でよいと思う。
- 委員 3 : 準中型の補助金を受けられるのは、3.5tを超える車両が配備される部の団員だけでなく、安曇野市消防団の団員全員という理解でよいか。
- 事務局 : 制度化した場合に、対象は消防団員全員になるが、優先順位を付けるとすると対象車両が配備された部が優先になると思われる。
- 委員 3 : 優先順位を付けても取得希望者がいない場合は、将来車両配備予定の部の団員、それでも対象者がいない場合は、それ以外の団員を対象とした方がよいと思う。
補助要件の誓約事項は、取得した日から5年以上在団とあるが、取得して3年で辞める場合などそれぞれの理由が伴ってくると思うので、返還させるかなど細かい検討が必要になる。
金額については、国や会社からの補助があった場合に重複して交付を受けることが可能なのか。
- 事務局 : 基本的には重複での交付はできない。制度化する際にはその辺りの詳細も検討していきたい。
- 委員 3 : 家族への報償金については、他の委員の意見にもあったが、対象が5年からではなく、早めに交付し家族からの後押しを受けるのも長く続けてもらうことや確保対策に繋がるのではないかと思う。5年間真面目に消防団活動を行っている方は、その後も特別な理由がない限りは続けてくれると思うので、報償金を早いうちに交付し、5年までの期間に家族からの後押しなどを受け消防団活動を続けてもらうことの方が重要であると思うので対象とする期間を早めに設定したほうがよいのではと思う。
- 委員 4 : 準中型運転免許の取得に対する補助金は非常にいいことだと思う。
家族に対する報償金も家族としては嬉しいものになるためいいことだと思う。しかし、支給対象者に団員と同居する一人として「子」が入っているが、通帳を持っていない場合があるため、対象者の範囲は検討する必要があると思う。
- 委員 5 : 今までの委員の皆様の意見と同様になります。準中型については、何年も在団する中で運転できないということがないように、免許取得について部長や分団長からの推薦を積極的に行うなど必要だと思う。
家族に対する報償金は賛成である。しかし、先程も意見があったが5年から対象とするのではなく、2年目位から対象としてよいのではないかと思う。
- 委員 4 : 準中型について、取得してから5年間は在団するという誓約事項を設けるかどうかだが、結婚を機に市内の分団を離れるなど、将来がわからない状態で5年間という誓約事項を設けるのはいかがなものかと思う。
- 事務局 : その様な場合など様々なケースが考えられるため、返還させるかなどについて制度化するにはしっかりと検討させていただきたい。
- 委員 6 : 準中型については、取得してから年間で1回でも出動することがあれば、取得した価値が出てくると思うので、5年間は在団するなどの誓約は不要だと思う。
あと、取得費用を調べてもらっているが、教習時間は何時間か事務局で把握しているか。
- 事務局 : 申し訳ないが把握していない。
- 委員 6 : 補助金額を算定するにあたり、教習日数や教習時間を参考にして算出したほうがわかりやすく説明しやすいと思う。
制度化については早急に取組んでいただき、詰所に集まった団員が誰も運転できないということが起きないようにしてほしい。
家族への報償金については良し悪しである。お金を配ったから協力的になるかと言われるればそうではないと思う。消防団員が家族ぐるみで得をするようなイベントや還元できる取組があればそちらの方がよいと思う。

委員 7 : 準中型については、団員の意向をしっかりと確認した上で取組を検討してほしい。補助金額についても、最低でも必要経費の半分は補助していただきたい。
家族の報償金は、5年以上から対象ということでなく、早い年数の段階から交付できるように検討してほしい。

委員（署長）： 準中型については、制度化した場合に対象者がいない、少ないということがあるかもしれないが、必要になったときに急いで制度化など駆け足にならないように、準備の意味で事前に整備をしておいてもよいと思う。また、現在は対象車両でないから必要ないというような団員もいるかもしれないが、いずれ更新対象になることを見据え事前に取得させておくことも必要だと思う。ただ、予算の枠も決まっていると思うので、取得する対象者の優先順位は整理しておくべきだと思う。
家族の報償金は、全国的に取組事例が少ないということで勇み足になるが、逆に言えば、安曇野市は消防団に対しできる限りの取組みをしているというPRにもなると思う。活用の方法によってはよい効果・広報になるのではないかなと思う。

委員（団長）： 準中型については制度としてありがたいが、恐らく団員は消防車両を運転する目的で取得はしないと思う。そのため近隣市でも、申請者が誰一人いないという実態になっていると思う。ただ、新入団員の勧誘の際にはメリットとして説明ができるため、消防団としては団活動だけでなく、長い目で見た場合に様々な場面で活用できるかもしれないことを含めた工夫したPRの仕方を考えていきたい。いずれにしても、制度が検討されることはありがたいことである。
家族に対する報償金についても制度としては大変ありがたいことである。ただ、支払いの方法や対象年数など検討する部分はたくさんあり、今のご時世を考えると、とりあえずお金という考え方はどうなのかと思う。もう一度よく考え、本当に家族にとって必要なかを議論する必要があるのかなと感じている。

委員長： 各委員から意見をいただき、賛成もあればまだまだ詳細部分について検討する必要があるとの意見をいただきました。特に準中型については早急に取組んでほしい旨の意見や取組むにあたっての法律的な部分の課題、制度のPRの仕方などの意見がありました。
家族に対する報償金については、大事なお金ですので、単なる交付とならないよう必要性などをしっかりと検討したうえで取組みが必要ではないかとの意見がありました。
今後は、委員の皆様からいただいた意見をまとめ、諮問に対する答申としてまとめていきたいと思う。

次回の日程は、令和5年4月中旬開催とする。